

科目名	音楽と文化				担当	今井 香織		
形態	講義	単位数	2	開講時期	2年前期	実務経験	高等学校音楽講師の経験有	
必修	—				ナンバリング	KB104	DPとの 関連	(幼) 1 (総) 1
授業概要	音楽を表現という観点からみつめ、アンサンブルやグループワーク等を通して、音楽を表現する側と受け取る側の両側面から音楽と文化について考察する。							
到達目標 学習成果	1. 音楽を表現という観点からみつめ、様々な音楽文化に関心を持ちながら実際に表現する。 2. 実際に表現することを通し、自分なりに音楽と文化について理解し、考察する。							
授業計画	回	内容						
	1	音楽とは何か	表現の観点から音楽を考える					
	2	音楽の基礎	楽譜の読み方等基礎的な知識について					
	3	リズムを使った表現-1	リズム・アンサンブルの実践1 (グループワーク)					
	4	リズムを使った表現-2	リズム・アンサンブルの実践2 (グループワーク、調べ学習)					
	5	声を使った表現-1	ヴォイス・アンサンブルの実践1 (グループワーク)					
	6	声を使った表現-2	ヴォイス・アンサンブルの実践1 (グループワーク、調べ学習)					
	7	モノを使った表現-1	モノを使ったアンサンブルの実践1 (グループワーク)					
	8	モノを使った表現-2	モノを使ったアンサンブルの実践2 (グループワーク、調べ学習)					
	9	表現する音楽1	アンサンブル発表内容決定 (グループワーク、調べ学習)					
	10	表現する音楽2	アンサンブル発表準備・練習① (グループワーク)					
	11	表現する音楽3	アンサンブル発表準備・練習② (グループワーク)					
	12	表現する音楽4	アンサンブル発表準備・練習③ (グループワーク)					
	13	表現する音楽5	アンサンブル発表 (グループワーク)					
	14	振り返り-1	これまでの表現活動の振り返り① (グループワーク)					
15	振り返り-2	これまでの表現活動の振り返り②						
評価基準	1. 様々な音楽文化に関心を持ちながら表現活動に取り組めたか 2. 自分なりに音楽と文化について理解し考察することができたか							
評価方法	グループ発表 50% 毎回の提出物 30% 授業態度 20%							
フィードバック 方法	グループ発表後は、講義内容を振り返りながら講評する							
アクティブ ラーニング	グループワーク、調べ学習、プレゼンテーション、演奏発表							
教科書	必要に応じてレジュメを配布する							
参考書	参考資料は、授業時に配布する							
履修条件	定員 30 名程度 音楽の基礎的な知識の習得やグループ発表等があり、積極的に取り組むことを望む							
授業外学習	グループによる実技発表を行うため、練習を必要とする場合がある							
オフィスアワー	オフィスアワーは掲示板に掲示する							